

JA ONOMICHI GENERAL HOSPITAL

病院案内

GUIDE BOOK

地域すべての住民の
「かけはし」になる。



INNOVATION SAFETY AND AMENITY

JA尾道総合病院は、
地域すべての住民の「かけはし」となり
総合医療の責務を果たし続けます。



皆様とともに歩み地域医療に貢献する JA尾道総合病院

JA尾道総合病院 病院長
田中 信治
SHINJI TANAKA

JA尾道総合病院は1957年に農業協同組合によって開設され、2011年5月に平原台に新築移転し、今年で開設66年目を迎えました。諸先輩達による努力の継続の結果、現在、高度急性期に対応する公的病院としてチーム医療を実践しながら、①がん医療、②救急医療、③小児・産科医療、④災害医療の分野を重点的に担っています。現在、365日24時間の救急医療体制を整え可能な限り多くの急性期の患者さんを受け入れております。診療圏としては、尾道市を中心に広島県東部の地域医療を担っておりますが、⑤地域医療連携にも力を入れ、尾三地域および近郊全体の医療体制のサポートを行っております。2019年に政府が提案した「地域医療構想」につきましても、コロナ禍のために検討が中断されていますが、現在の地域医療体制を堅持しながら対応できるよう鋭意検討を重ねて努力して参ります。

一方で、当院は診療のみでなく、医育機関として次代を担う医療人を育成すべく医学生・研修医・専攻医の教育・指導も行っております。また、多職種がかかわるチーム医療教育を実践する臨床実習教育研修施設として、わが国の次世代医療人養成を通じた社会貢献も果たしております。

約3年間続いたコロナ禍も今年のうち収束し、従来の日常が戻って来ると思います。専門医機構による新しい専門医制度、働き方改革、前述の県全体での地域医療連携体制構築など多くの課題も存在しますが、ポストコロナ時代にスムーズに移行しながら、当院の理念「良質で安全な医療提供」を継承し、これまで同様に地元の皆様から信頼される医療機関として安全で質の高い診療に努め、常に新しい知識の習得と技術の研鑽に励むとともに生命の尊厳と人間愛を大切に参ります。

全力で社会貢献に努めて参りますので、今後とも従来と変わらぬご支援とご鞭撻を何卒宜しく願い申し上げます。

理念

私たちは、生命の尊さと人間愛を基調に、力を合わせて病める人々を守ります。私たちは、地域の基幹病院としての自覚を持ち、常に新しくより高い知識の習得と技術の研鑽に励みます。

基本方針

農業協同組合員によって創設されたJA尾道総合病院は、公的病院として保健・医療・福祉・介護活動を通じて、地域に貢献します。

患者さんの権利

- 公平で良質な医療を受けることができます。
- 当院で受ける医療について十分な説明を受け、理解した後、自らの意志で治療方針を決定することができます。また意見を申し出ることができます。
- セカンドオピニオンとして、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます。また自分の意志で他の医療機関での医療を受けることができます。
- 必要に応じて診療記録等の開示を求めることができます。
- 個人情報は尊重されます。

さしのべる『手』 見守る『ひとみ』 看護の『ころろ』

地域の急性期医療を担う基幹病院として、専門性を発揮し、チーム医療に積極的に取り組んでいます。また、地域の方々の期待と信頼に応えていけるよう人材育成にも力を注いでいます。

さしのべる『手』・見守る『ひとみ』・看護の『ころろ』で、患者中心の優しく信頼される看護を目指し、手厚い看護の提供に努めています。

仕事を通して自己実現でき、ワークライフバランスにも配慮できるよう支援しています。



JA尾道総合病院 看護部長
樋本 瑞江
MIZUE HIMOTO

看護科理念

私たちは、すべての人から愛され信頼されるやさしい看護を提供します

看護科基本方針

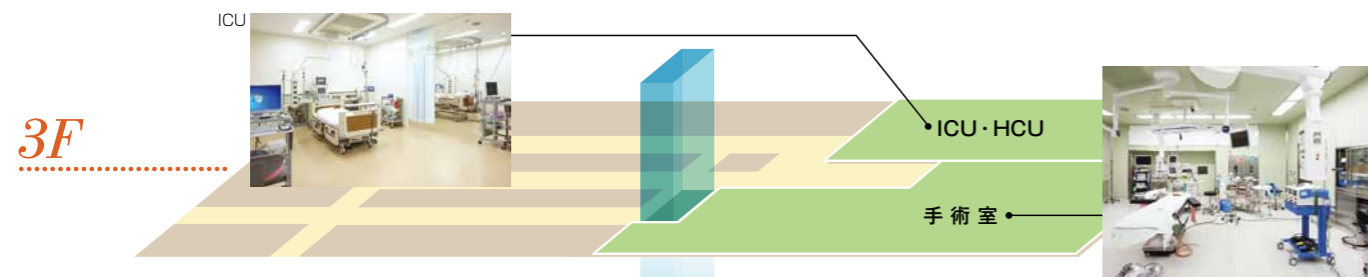
- 倫理的視点もち質の高い看護を実践します
- その人らしさを大切に看護を実践します
- 専門性を高め、自律性のある看護を実践します
- 多職種と協働し、チーム医療の一員として看護を実践します
- 地域の医療ニーズに応じた看護を実践します

教育目標

- 地域の基幹病院として、高度医療に対応し、質の高い看護が提供できる看護師の育成
- 専門職業人として自己啓発できる看護師の育成
- 患者中心のチーム医療ができる看護師の育成

地域救命救急センター

地域救命救急センターは、手術も可能な処置室を整備し、また内視鏡センターや心臓血管センター、MRIやCTなどの撮影機器を救急外来を中心として同じフロアに配置しました。また、他フロアにある手術室、ICU、HCUへも直通エレベータを備え移送、治療が安全迅速に行えます。



内視鏡センター



内視鏡センターは最新の設備を有する約530平方メートルの広大なスペースで活動しています。24時間体制で医師および専任の内視鏡技師・看護師が協働で対応しています。また肝臓病センター、

IBD（炎症性腸疾患）センターと協働し、超音波・IVR関連の高度な手技を併用した消化器各領域のがん、炎症疾患等に対する専門的な診断・治療を行っています。当センターには消化管、肝臓、膵胆道の各領域に経験豊富な指導医が配置され、すべての検査・治療を24時間体制で、当院常勤医が責任を持って施行しています。

心臓血管センター

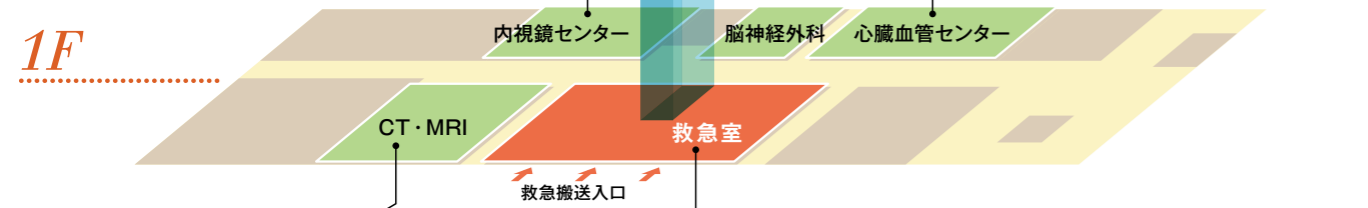


循環器内科医と心臓血管外科医が緊密に連携して循環器系の疾患に対し診療を行うことにより、迅速な診断および最適な治療方針の決定が可能になっています。

特に急性心筋梗塞やうっ血性心不全など、緊急に治療が必要な急性疾患に対しては、24時間体制で診療を行っています。

また、医師・看護師・理学療法士と連携し、心臓リハビリを行っており、急性心筋梗塞や開胸術後の患者さんの早期離床やADL回復に役立っています。専用のリハビリ室をセンターに併設しています。

1F



MRI

救急センター

救急センターには救急搬送専用の救急室が3室あり、うち2室では手術が行える設備となっています。また外来部門では、救急患者さんを迅速・確実に診断し、スムーズに適切な診療科へと連絡・紹介を行なうために総合診療科にて対応しています。



救急室

経緯

以前、広島県内の救命救急センターは西部に5ヶ所、東部は福山市民病院の1ヶ所のみだったため、尾三地域での救命困難な場合は福山、またさらには他県でご対応頂いていました。この三次救急機能の空白地帯を埋め、迅速な高度救急医療を行うことを目的に2015年4月に当センターを開設しました。

オール尾道、オール尾三で地域の皆様の一人ひとりの大切な命を守っていきたく考えています。



総合的ながん医療

当院は、厚生労働省より指定されたがん診療連携拠点病院です。

当院でのがん患者さんの検査治療方針は、内視鏡センター・消化器科・呼吸器科・放射線科画像診断・放射線治療各分野等の専門医・指導医を構成員とする「がん診療連携拠点病院」によってがん治療ガイドラインを考慮しながら十分に検討・決定されています。

リニアックセンター

がん治療において、放射線治療（高いエネルギーの放射線を当てることで、がんや腫瘍を治したり、症状を和らげる治療法）を行っています。

2022年1月から新しく米国varian社製放射線治療用装置「TrueBeam」と、独国Brainlab社製位置照合装置「エクザクトラック」を導入し、今までよりも短い時間でミリメートル単位での細かな位置合わせが正確に出来るようになりました。

また、「定位放射線治療」「強度変調放射線治療（IMRT）」に対応できることで、より体の負担が少なく正確な治療が可能となりました。

スタッフには専門資格をもった放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線治療品質管理士、がん放射線療法看護認定看護師が専従で所属しており、患者さん、ご家族が安心して治療を受けられるようサポートしています。



産科医療・小児医療

一人ひとりの赤ちゃんが、家族の一員として迎えられるように。

地域周産期母子医療センター

—母子の健康を願いながら—

産婦人科では年間約500件の分娩（帝王切開含む）を行っています。入院中に母親学級（分娩室・病室の見学、母児同室、カンガルーケアなどの説明）を行い、退院後の育児に困らないように関わっています。

またNICU（新生児集中治療室）を6床設け早産児・低出生体重児や疾患がある新生児の入院にも対応しています。

一人ひとりの赤ちゃんが家族の一員として迎えられるように、担当看護師を中心に、育児指導や地域保健師・訪問看護師と連携をとりサポートしています。



NICU（新生児集中治療室）

小児救急医療拠点病院 —健やかな未来のために—

小児科は、一般外来を平日3診体制で行っており、腎外来・アレルギー外来・心臓外来・内分泌外来・神経外来・発達外来などの専門外来に加え、カウンセリングを行うなど幅広く対応しています。

また、尾三地域で唯一の院内小学校・中学校も設けており、長期入院時の勉学にも配慮しています。

2003年には小児救急医療拠点病院の指定を受け、24時間体制で小児救急に対応しています。



地域医療

地域医療の支援に力をそそぐ。

当院は広島県知事より「地域医療支援病院」として承認されています。そのため、患者さんが身近な医療機関で安心して医療がうけられるように、地域の開業医・診療所の先生に「かかりつけ医」として日常の診療を行っていただき、当院が専門的な医療を行うという地域医療を推奨しています。

医療福祉支援センターの主な業務

地域医療連携室

地域の医療機関との窓口として医療連携に関わる業務を行っています。病気にかかり、治療を受けていくうえで生じる不安について相談をお受けします。

医療連携

- 紹介患者さんの受付窓口、受診調整を行います。
- かかりつけ医の選定等、地域医療との橋渡しをします。

広報活動

- 診療内容、治療実績、各種活動
- 患者さん、医療機関に対しての広報活動

地域連携

- 地域医療支援病院(事務局)
- 地域がん診療連携拠点病院(事務局)
- がんゲノム医療連携病院

ボランティア支援

- ボランティアの募集・登録管理
- 病院行事・催し物等

がん相談

- がん治療に関する相談
- 緩和ケアに関する相談
- セカンドオピニオンに関する相談
- その他がん患者さんのあらゆる相談



医療福祉支援センター

医療福祉支援センター

- 患者さんやご家族へ総合的な医療・福祉相談等の医療サービスを行います。
- 障害を抱えて退院する患者さんや医療依存度の高い患者さんご家族が安心して療養できるよう、地域の医療機関や福祉行政機関、および医療福祉施設等との連携・調整を図り支援します。
- 予約診療の推進、患者さんへのサービスの向上、患者さんに満足してもらえる適性で質の高い医療情報を提供します。

入退院支援室

安心して入院治療や在宅療養ができるよう、入院前から退院支援・在宅支援に関わる業務を行っています。

入院支援

- 入院前の治療計画説明
- 周手術期医科歯科連携に関する支援
- カンファレンスの実施

退院・在宅支援

- 自宅退院に向けた相談
- 転院、施設入所などの相談、調整
- 医療依存度の高い患者さんの在宅支援

医療福祉相談

- 介護保険、身体障害者手帳など 社会保障制度の相談
- 医療費、療養費の相談
- その他、社会福祉制度の相談



入退院センター

施設紹介

あなたの健康な明日を支えます。

概要

名称 広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
住所 〒722-8508 広島県尾道市平原一丁目10番23号
TEL(0848)22-8111 FAX(0848)23-3214

病院長 田中 信治
開設者 広島県厚生農業協同組合連合会
開設日 昭和32年11月
許可病床数 393床(一般病床)
個室 103室

免震構造

地震のゆれを免震装置(免震アイソレータ)で吸収し直接建物に伝えない構造となっています。この構造では、建物そのものの被害を防ぐだけでなく、家具・什器の転倒や破損等も最小限に抑えられることから、大規模地震時にも災害拠点病院として安全性が確保できる建物となっています。

コージェネレーションシステム

発電と同時に発生する排熱を空調・給湯に有効利用することにより、省エネルギーを実現します。また、クリーンな天然ガスを利用することにより地球温暖化の原因と言われるCO₂の排出を大幅に削減し環境へ配慮しています。

大型医療機器

- マルチスライスCT(2台)
- MRI 1.5テスラ(1台) 3.0テスラ(1台)
- リニアック(1台)
- SPECT-CT(1台)
- 血管造影装置(2台)
- 結石破碎装置(1台)

養成施設

広島県厚生連尾道看護専門学校(3年課程-1学年定員40名)

売店・レストラン

- デイリーウェル(コンビニ) 平日/7:00~20:00 土・日・祝祭日/7:00~18:00
- ドトールコーヒーショップ 平日/9:00~17:30 土・日・祝祭日/10:00~15:00
- 尾道地産地消レストラン 平日/7:30~20:00 土・日・祝祭日/11:00~16:00

施設認定

- 地域救命救急センター
- 地域医療支援病院
- 地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院
- へき地医療拠点病院
- 病院群輪番制病院(二次救急)
- 地域がん診療連携拠点病院
- 小児救急医療拠点病院
- 臨床研修指定病院
- がんゲノム医療連携病院



3.0テスラMRI



テイルーム



リハビリテーションセンター



大会議室



個室



尾道地産地消レストラン

保健活動事業

健康はみんなの願い。

地域における生活環境および疾患構造の変化、多様化に即応して「治療より予防」の認識を深め、組合員をはじめ、地域のみなさまの健康を増進するため、保健活動に取り組んでいます。

健診活動

生活習慣病予防と潜在疾患の早期発見・早期治療を目的として、各種健診活動に取り組んでいます。

巡回健診

- 生活習慣病健診
- 職域健診
- 各種オプション

施設内健診

- がんドック
- 人間ドック(泊・通院)
- 人間ドック(日帰り)
- がん検診(肺・胃・大腸・子宮・乳・前立腺)
- レディース検診
- 労災二次健診
- 特定健診
- 等

保健指導活動

人間ドックの受診結果により特定保健指導該当者には受診当日に声掛けを行い、希望者に保健指導を行っています。希望者のニーズに応じて健康づくりを支援する活動に力を入れています。

また、病院に属する健康管理センターの特性を活かし、受診当日の結果によって精密検査が必要と判明した場合は、ご本人の希望に合わせて当院受診予約の案内を行っています。



沿革・歴史

- 昭和32年11月 開設・診療科目9科(内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・歯科)・病床数280床(一般130床、結核150床)
- 昭和33年12月 尾道総合病院に名称使用承認(指令医第5185号)
- 昭和44年3月 高等看護学院を開設し学生の受け入れを開始した
- 昭和60年1月 公益法人として認可(法人税等非課税)
- 昭和61年9月 NICU(一般病床11床転用)を開設
- 平成2年2月 救急告示病院
- 平成9年2月 地域災害拠点病院に指定
- 平成10年4月 臨床研修指定病院に指定
- 平成12年2月 地域周産期母子医療センターに指定(広島県)
- 平成15年5月 小児救急拠点病院に指定(広島県)
- 平成15年6月 内視鏡センター開設
- 平成15年12月 心臓血管センター開設
- 平成16年1月 リニアックセンター開設
- 平成16年9月 肝臓病センター開設
- 平成18年8月 厚生労働省より広島県の地域がん診療連携拠点病院に認定
- 平成19年2月 がん患者さんの相談機能強化のため、相談支援センターを開設
- 平成19年12月 特定集中治療室(ICU)を新設
- 平成20年2月 広島県知事より、地域医療支援病院を承認
- 平成20年4月 DPC対象病院
- 平成23年5月 新病院移転
- 平成24年4月 IBD(炎症性腸疾患)センター開設
- 平成27年4月 地域救命救急センター開設
- 平成30年3月 病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)一般病院2 認定
- 令和2年9月 緩和ケアセンター開設
- 令和2年11月 へき地医療拠点病院に指定
- 令和3年4月 がんゲノム医療連携病院に指定

診療部門

【標榜科 32科】

内科	消化器内科	腎臓内科	呼吸器内科	循環器内科
小児科	小児外科	外科	肛門外科	脳神経外科
呼吸器外科	消化器外科	乳腺外科	心臓血管外科	整形外科
形成外科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科
耳鼻咽喉科	精神神経科	麻酔科 (バインクリニック)	放射線科	歯科口腔外科
リハビリテーション科	救急科 (総合診療科)	緩和ケア内科	病理診断科	リウマチ・膠原病科
内分泌糖尿病内科	放射線治療科			

センター/内視鏡センター・IBDセンター・化学療法センター・肝臓病センター・リニアックセンター
心臓血管センター・地域周産期母子医療センター・地域救命救急センター・緩和ケアセンター

学会認定

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本消化器病学会認定医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- 日本胸部外科学会認定医認定制度指定関連施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本外科学会認定医制度修練施設
- 日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本小児科専門医認定施設
- 日本周産期新生児専門医暫定研修施設
- 日本産科婦人科学会認定医制度卒業研修指導施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本麻酔科学会麻酔指導病院
- 日本ペインクリニック学会指定研修施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本乳癌学会認定・専門医制度関連施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本病理学会認定病理医制度登録施設
- 日本老年医学会認定施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本病理学会病理専門医研修認定施設B
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本栄養士会栄養サポートチーム担当者研修認定教育施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本病理学会研修認定施設
- 心臓血管外科専門医認定機構認定関連施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設
- 日本胆道学会認定施設
- 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設B
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本透析医学会専門医教育関連施設
- 日本急性血液浄化学会認定施設
- 日本脈管学会認定研修関連施設
- 日本消化管学会認定胃腸科指導施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設

ACCESS MAP



病院敷地内は全面禁煙となっています。

車 尾道バイパス・平原インターから約3分

- バス**
- 尾道駅（山陽本線）尾道駅前-JA尾道総合病院前下車
（おのみちバス：JA尾道総合病院線・尾道市立大学線・瀬戸田線の3路線）
 - 新尾道駅（新幹線）新尾道駅-JA尾道総合病院前下車
（おのみちバス：尾道市立大学線）

利用者専用シャトルバスのご案内（祝日、休院日を除く月～金曜日）

- 三原方面 JR三原駅西口発（所要時間約30分・途中の停留所7か所）
 - 松永方面 松永農協会館前発（所要時間約30分・途中の停留所9か所）
- ※詳しくは総合案内にてお尋ねいただくか、病院ホームページをご覧ください。

駐車場のご案内

駐車料金 ▶ 30分無料、その後1時間ごとに100円
診察を受けられた方は無料となります。